

洞爺湖 ウチダザリガニ／ソウベツ川 サクラマス

生態に迫る15点

水の駅 田中さんが写真展



洞爺湖

日本写真家協会会員で水中写真家の田中正文さんが、洞爺湖に潜って撮影した写真の作品展がこのほど、洞爺湖町のとうや・水の駅で始まった。二十九日まで。

今年九月、テレビ番組取材で洞爺湖の水中生物を調査した田中さん。資料がまとまったことか

洞爺湖に生息する水中生物をとらえた作品が並ぶ写真展

ら、NPO法人洞爺まちづくり観光協会が同駅で写真展を企画した。

会場には十五点を展示。水深五メートル、十メートルの地点で顔を見せる特定外来生物・ウチダザリガニの様子や、ソウベツ川で力尽きようとしているサクラマス、マゴイの泳ぐ姿などが写し出され、生態に迫っている。札幌のダイバー・今井昌さんの写真もあり、来場者はしばし足を止めて見入っている。

田中さんは千葉県出身。太平洋戦争で沈んだ日本の船舶などの水中撮影をライフワークに活動しており、今年三月には記録写真集「パラオ・海底の英霊たち」を出版。各地で写真展を開いている。